

小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	22	施策名	商業・サービス業の振興	
小施策コード	22-3	小施策名	多様なサービス業の振興	
小施策 主管課等コード	135000	小施策 主管課等名	経済企画課	
評価責任者名	小原 勝博		内線番号	3710
評価シート作成者名	高橋 博文		内線番号	3711

Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
卸・小売の年間販売額*	↑	億円	10,724	10,220	—	11,300	11,800
サービス業の事業所数*	↑	事業 所	4,639	5,207	—	4,900	5,100

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

* 28年度の経済センサスの調査結果は30年3月に公表されるため，28年度実績は空欄となっている。

Step 2 小施策の全体像

小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

対象 (誰 (何) を対象として行うのか)	意図 (対象をどのようにしたいのか)
サービス業者	多様なサービスを提供する。
現状と課題	本市は第三次産業の割合が高い産業構成となっており，その中でも全事業所数に対し，約3割を占めるサービス業は，多様で市民生活への関連も深く，経済活動の重要な分野であることから，育成を支援する必要がある。
取組の方向性	にぎわいと求心力のある商業と多様なサービス業の振興に向けて，情報・生活関連サービス業などの育成支援を推進する。

Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
サービス業の従業者数	↑	人	53,158	63,042	54,364	55,800	58,500
サービス業の新規求人数	↑	人	19,721	21,503	20,917	20,700	21,700

※ 集計方法の変更のため、目標値も含めて修正するもの。

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標，↓：数値を下げていくことを目標とする指標，→：数値を維持することを目標とする指標)

Step 4 市民ニーズの把握

わんこそば、盛岡冷麺、盛岡じゃじゃ麺の「盛岡三大麺」がテレビに多く取り上げられるなど、全国的に知名度が上がっており、地元で根付く麺文化を強力に発信し、さらなる麺ファンを増やしていきたいという要望が、市内の盛岡三大麺取扱店で組織する盛岡三大麺普及協議会より出ている。

Step 5 役割分担分析

1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担 比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	全日本わんこそば選手権での運営を主に担うこととしている。	20
	国・県・ 他自治体		
	市民・ NPO		
	企業・ その他	平成26年7月3日に「盛岡三大麺普及協議会」が設立され、中心となり事業を進めている。	80

2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

(理由)

各種事業を推進していくにあたって、市の財政的支援は重要であり、現状維持が必要であると考えられる。

Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

盛岡三大麺普及協議会との打合せについては、市が調整役を担い開催に向けた準備を進めていく。また、事務局体制と事業実施体制については、経験豊富な事業者などの協力を仰ぎ強化するとともに、遅れている事業資金の調達にもつなげていく。

2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況
三大麺普及協議会との調整	イベント実施に係る調整	A

3 2で挙げた取組状況がCの場合, その原因

Step 7 成果・問題点の把握

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

盛岡三大麺普及協議会が主体となり、「ニッポンめんサミットin盛岡2016」が開催された。開催期間中は多くの来場があり、盛岡三大麺も含めた麺文化の情報発信をすることができた。

(2) 成果をあげた要因

盛岡三大麺普及協議会が中心となりイベントの企画・運営を行ったことで、業界と一体となった三大麺普及を行うことができた。

(3) さらなる成果向上に向けた課題(課題がある場合に記載)

イベント開催等を通じて、業界団体が主体となり業界を盛り上げる機運が高まっており、業界と市の連携の仕方について引き続き調整をしていく必要がある。

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

盛岡三大麺普及協議会内の事務局体制や事業実施体制を強化する必要がある。

(2) 現状の問題点が生じている原因

盛岡三大麺普及協議会内において、業務分担に偏りがあり業界全体での事務局運営となっていない。

(3) 分析した原因の解決に向けた課題

盛岡三大麺普及協議会の運営が、業界全体での事務局運営となるように引き続き調整していく必要がある。

Step 8 小施策と構成事業の関係性

- 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業
小施策との結び付きは強く、重複もしていない。
- 2 1で記載した事業についてその理由
- 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

Step 9 Step7, 8を踏まえた改革改善案

平成29年度中に策定する商業振興ビジョンにおいて、課題解決に向けた改革改善について、関係団体からの意見を踏まえて検討をする予定である。